

# 人と湯と自然にふれる 開湯一三〇〇年 湯田川温泉

## 千年の時を刻む湯の歴史

712年（約1300年前）、傷を負った一羽の白鷺がこの地に湧いていた湯で傷を癒したことに由来し、その昔「白鷺の湯」と呼ばれておりました。

また、古都鶴岡の奥座敷と呼ばれる湯田川温泉は、庄内三名湯のひとつに数えられ、古くから豊かな自然と人情味あふれる湯の里としても知られております。

## 常にあふれ出す源泉かけ流しの湯

泉質は、毎分約1,000リットルと豊富な湧出量を誇る硫酸塩泉（旧泉質名：含石膏芒硝泉）です。

動脈硬化症や切り傷、火傷などに効果があるとされており、鎮静作用や血圧の降下作用も期待できます。浴槽の温度は40～41℃と熱すぎずゆっくりとご入浴でき、心身ともにリフレッシュしていただけます。

## 旬の訪れを湯田川で

湯田川温泉は、海や山、野に囲まれた自然豊かな里です。その名を全国にとどろかせるだだちゃ豆が栽培される「白山」は目と鼻の先。また、日本海の海の幸が集う庄内浜・由良漁港へも車で15分という食材に恵まれた街でもあります。孟宗（タケノコ）や採れたての山菜、岩牡蠣、藤沢かぶ、寒鰯、果物など、この里ならではの旬の訪れを心ゆくまで堪能ください。



### かっぽ酒

孟宗竹に地酒を注ぎ燗をつけるかっぽ酒は、竹の香りと甘味を纏ったお酒が愉しめる湯田川名物です。

ワーケーションを推奨しております。

湯田川温泉協会では、観光誘致の一環としてワーケーションを推奨しております。各お宿ごとの詳しいプランは公式ホームページにてご確認ください。

| お宿のご紹介                                      |                                         |
|---------------------------------------------|-----------------------------------------|
| ◎ 九兵衛旅館 [客室数13室]<br>(TEL) : 0235-35-2777    | ◎ 隼人旅館 [客室数8室]<br>(TEL) : 0235-35-3355  |
| ◎ 仙荘 湯田川 [客室数18室]<br>(TEL) : 0235-35-3773   | ◎ ますや旅館 [客室数6室]<br>(TEL) : 0235-35-3211 |
| ◎ 九兵衛別館 珠玉や [客室数8室]<br>(TEL) : 0235-35-3535 | ◎ 湯どの庵 [客室数14室]<br>(TEL) : 0235-35-2200 |
| ◎ つかさや旅館 [客室数6室]<br>(TEL) : 0235-35-2301    | ◎ 理太夫旅館 [客室数7室]<br>(TEL) : 0235-35-2888 |

環境省指定 国民保養温泉地/日本源泉かけ流し温泉協会加盟

 湯田川温泉観光協会

(TEL):0235-35-4111 / (FAX):0235-35-3477

電話受付時間 9:00～18:00 (土曜日・日曜日・祝祭日を除く)

E-mail:info@yutagawaonsen.com

<http://www.yutagawaonsen.com>



※国民保養温泉地とは、温泉の公共的利用を推進するために、温泉利用の効果が十分期待され、なおかつ、健全な保養地として活用される温泉地を「温泉法」に基づき、環境大臣が指定するものです。湯田川温泉は2001年に認定を受け、名実ともに名湯となりました。





湯田川温泉  
開湯一三〇〇年

やわらかな源泉かけ流し

## 丑湯治と湯田川温泉神楽



### 温泉清浄祭

「土用の丑の日」にはお湯が生まれ変わるという言葉い伝えのもと、由豆佐売神社で行われる珍しいお祭りです。湯田川神楽が神社の大前に奉納され、その後各お宿や商店前の路上で上演されます。

無病息災を願う  
丑湯治とは  
古くから土用の丑の日にあわせて湯治をすると言われ、一年間無病息災で暮らせると言い伝えられております。



### 湯田川神楽とは

徳川三代将軍家光公が治めた江戸時代から続く、囃子の軽快なリズムが心地よいユーモアな舞いです。登場する獅子舞いは悪魔祓いを意味します。湯田川神楽は、映画「たそがれ清兵衛」にも登場しました。※上演日時は各お宿にお問い合わせください





藤沢周平の描く  
時代小説の背景を辿る

花のあと「以登子物語」  
湯田川温泉

鶴岡市

古くから様々な文人墨客に愛される湯田川温泉。中でも、直木賞を受賞し、現代日本を代表する時代小説作家である藤沢周平との関わりは深いものです。

鶴岡市出身の藤沢周平は、教師として湯田川へ赴任したのち、病をきっかけに作家へ転身しました。映像化もされている短編小説「花のあと」の中で、彼は湯治場として湯田川温泉を登場させました。作品中では武士や町民が通う光景が描かれており、今も昔も変わらず人々に愛される湯田川温泉の風情を感じさせます。

藤沢周平はその人柄も多くの人々に慕われ、湯田川小学校跡地には記念碑が建立されています。



### 孟宗まつり

各お宿で湯田川の特産、孟宗づくしの料理をご堪能いただけます。掘りたての孟宗を販売する朝市や宿泊客対象の「孟宗掘り（収穫体験）」も行います。

朝掘り孟宗直売  
4月下旬～5月下旬

初夏の訪れを告げる  
湯田川名物 孟宗  
郷土料理にふれ、旬を食すひとときを。四月下旬～五月中旬に旬のピークを迎えます。

孟宗とは、孟宗竹のタケノコのことです。孟宗は収穫してから時間の経過に伴い、えぐみやアクがきつくなります。

湯田川の孟宗が美味しいと評価される理由は、収穫から五時間以内の「朝掘り」を調理する鮮度の高さにあります。限られた流通量ながら、そのやわらかさと風味の高さを求めて毎年多くの方がこの地を訪れます。孟宗に厚揚げや椎茸を加え、味噌と酒粕で仕立てた名物孟宗汁をぜひどうぞ。





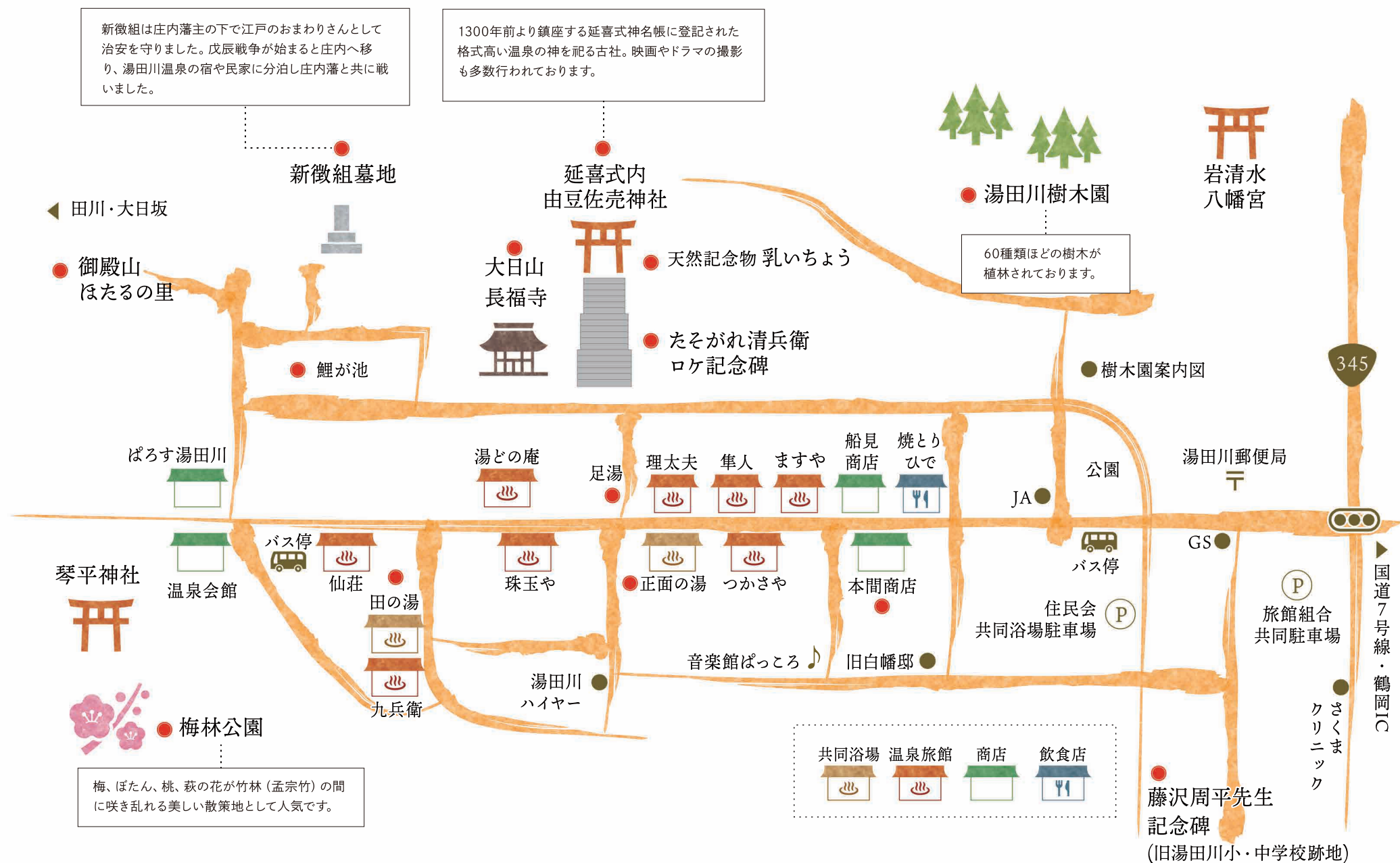
## 散策マップ／湯田川を知り、風情を味わう庄内の奥座敷散策

癒しの湯と自然、人情味にあふれる街、湯田川温泉街。鶴岡の奥座敷と呼ばれる風情ある街並みを、ゆったりと散策してみたいはいかがでしょうか。

湯田川温泉  
開湯三〇〇年

湯田川にあるすべての浴槽は源泉かけ流しです。

湯田川温泉は日本源泉かけ流し温泉加盟



### 周辺観光について



#### 湯田川温泉から車で40分 羽黒山

参詣道の入り口「随神門」から「三神合祭殿」のある山頂まで石畳を歩き、「爺杉」や国宝「五重塔」、縁結びの神様として知られる「埴山姫神社」にお参りをしながら、約1時間の道のりをご堪能いただけます。



#### 湯田川温泉から車で20分 加茂水族館

クラゲの展示種類数世界一を誇る水族館。直径五メートルの円形水槽内を泳ぐ2,000匹ものミズクラゲは圧巻です。その他、アシカショーなど、生き物とふれあう癒しの時をお過ごしいただけます。

### アクセスについて



◎飛行機でお越しのお客様  
東京 羽田空港→ANA (約1時間) →庄内空港  
※庄内空港より湯田川温泉までタクシー約25分

◎お車で越しのお客様  
川口JCT→東北自動車道→村田JCT→山形自動車道→鶴岡IC→湯田川 (約6時間15分)

◎電車でお越しのお客様  
東京駅→上越新幹線 (約2時間) →新潟駅→JR特急いなほ (約1時間50分) →鶴岡駅  
※鶴岡駅より湯田川温泉までバス約30分、タクシー約20分

## 湯田川の四季と食／自然からの贈り物をいただくー。



春

朝掘りの孟宗 (タケノコ) や山菜、サクラムスなど、食材から春の訪れを感じられます。



夏

だだちゃ豆や庄内砂丘メロンに加え、口細蝶、岩牡蠣など日本海の幸も目白押しです。



秋

風物詩でもある庄内柿やアケビ、脂ののったハタハタ。新米も美味しい季節です。



冬

寒鰯やズワイガニ、藤沢地区で代々受け継がれる藤沢かぶなどは、冬の庄内の食の醍醐味とも言えます。

### 仕事と旅をもっと自由に

#### ワーケーションという新しい働き方

湯田川は湯治にも効果が期待される湯田川温泉を中心に自然豊かな環境が広がっております。東京や関東の都心部からのアクセスも良好なため、フリーランスの方や家族旅行を兼ねたワーケーション先にもおすすめです。なかなか休暇が取りづらい方も、リフレッシュを兼ねた旅行に仕事を組み込むことで仕事とプライベートを充実させることができます。次回の旅先に湯田川温泉のワーケーションプランをご検討してみたいはいかがでしょうか。

※「ワーケーション」とはwork (仕事) とvacation (休暇) の合成語です。

